

平成20年度 石膏ボード工業会 特別功労賞を受賞！

鵜飼 恵三 教授

社会環境デザイン工学専攻の鵜飼教授は、平成20年6月12日に開催された（社）石膏ボード工業会総会において特別功労賞を授与された。これは、鵜飼教授がNPO法人北関東産官学研究会内に設置された廃石膏ボード再資源化研究会において会長を務め、廃石膏ボードを利用した地盤改良材への有効利用の研究を通じ、石膏ボード工業界の発展に貢献した功績が認められたことによるものである。

廃石膏ボードの石膏は二水石膏と呼ばれ、120℃以上に加熱すると結晶水の一部が蒸発し、半水石膏へと変化する。この半水石膏と土を混合して適度に締め固めると硬化することを、様々な種類の土に対して実験により確認し、廃石膏ボードの地盤改良材としての再資源化への道を開いた。この技術を発展させるとともに全国へ広げるため、これまで3回にわたって廃石膏ボード再資源化情報交換会を桐生地域地場産業振興センターで開催し、毎回全国から100名以上の参加者を集めている。現在、この技術は、島根大学の亀井健史准教授（元群馬大学非常勤講師）に引き継がれて進展を遂げ、NEXCO西日本（旧道路公団の西日本セクション）において、高速道路の建設や道路改修へ大々的に使用されることが決まっている。

